



# 東京多摩プロバスニュース

第 114 号

■事務局: 〒206-0002 東京都多摩市一ノ宮 1-17-18 登坂征一郎方 ■電話: 042-375-5878

■編集・発行: 広報委員会 2024. 11. 6.

■ホームページ: [tokyo-tama-probusclub.com](http://tokyo-tama-probusclub.com)



## 楽しくなければプロバスではない



ごあいさつ

小林務会長

私事、自動車運転歴 60 年、今年 9 月初旬免許証更新と検査講習のお知らせのはがきを受け取る以前から更新か返納か迷っていました。子供や孫からは返納を促されましたが妻だけは私の意志に任せるとの意見であった。理由はと尋ねると、ここ数十年無事故無違反であり私の運転に安心して乗車できる事と、妻自身最近足腰の老化による体調不良のために病院、整形外科医院、整体マッサージ、趣味のヨガ教室、買い物等私の送迎に私の運転を期待している模様。迷ったが自身、心身共に異常無く検査と講習受講を決定、近くの自動車教習場に連絡、9 月 13 日を予約可能、以前の認知機能検査の復讐も兼ねて手引書とネット検索による予習も済ませて当日の検査に臨む、意外や意外以前受講時の紙に記載のテスト等は無く教官の講義、安全運転ビデオ鑑賞と視力検査のみ、実車運転講習もごく簡単に私一人で教習場構内一周のドライブ無事講評を頂いて受講生全員 7 名が集合して受講終了証明書を渡されて終了、以前の講習よりも簡単、時間も短く感じた。

その後所用の為に高速道路運転、夜間運転、雨中の運転等も無事安全運転体験済。次の更新は 3 年後、更新に迷うだろうが自分の頭と身体に特別な異常が発生しない限り運転は続けたいと思う。自身の趣味の一つ、60 年近く親しんだゴルフの継続、妻の送迎、ドライブ、平素安全運転には細心の注意を払って指定された期日に運転免許証書き換えに行きます。

### 理 念

1. 豊かな人生経験を  
生かし地域社会に奉  
仕する
2. 活力ある高齢社会  
を創造する
3. 会員同士の交流と  
意欲の向上をはかる
4. 非政治的、非宗教  
的、非営利的である  
こととする



鶴牧西公園は、傾斜地に果樹を植栽し、その間をジグザグコースで遊覧でき、平地には遊具を設置しています。

### トピックス

◎このたび、当クラブに堀井義昭様が入会されることとなりました。先に入会された岡崎倫子会員につき、うれしいニュースです。

◎プロバスニュースが前号よりリニューアル。将来的には、森林資源、エネルギー資源保全等のため完全デジタル化を目指しますが、当面は印刷版とデジタル版(PDF)で閲覧できるようにして、将来のデジタル化に備えたいと考えています。

QR コードを読みとり当ニュースのデジタル版が閲覧できます。



◇◇◇ 幹事・委員会報告 ◇◇◇

1. 幹事報告

小島明幹事

- 1) 雨で2回順延となっていた多摩3地区プロバスクラブ合同ゴルフコンペが長竹カントリークラブで10月31日に行われます。3度目の正直でどうなりますか？
- 2) 会則、定款の改定が決まりました。ご苦勞様でした。会員、休会員、会友の様訳が決まり少しでも会費が増えると良いと思います。

2. 委員会報告

2.1. 総務委員会

片倉満委員長

- 1) 第243回定例会：9月4日(水)  
於)関戸公民館8階第3学習室  
・出席者：7名(会員数9名+休会員3名)  
・主たる次第：①会長挨拶、幹事報告後、②9月度誕生祝い：登坂征一郎会員 増山敏夫会員③各委員会報告④会則・細則改定案の最終案決定、休会員及び会友に改定案を郵送にて伝達する事となる ⑤卓話：8月8日開催の全日本プロバス協議会総会・五所川原大会参加の小林会長、小島幹事、伊藤広報委員長、登坂理事・事務局担当から記録ビデオ交えて報告

2) 第244回定例会：10月2日(水)

- 於)関戸公民館8階第2学習室  
・出席者：7名(会員数9名+休会員3名)  
ゲスト/堀井義昭氏(入会検討中)  
・主たる次第：①会長挨拶、幹事報告後、②今後の卓話・講話の候補講師発表 ③各委員会報告 ④会則・細則改定の休会員、会友からの反響の情報交換  
⑤今月の講話：講師/多摩市国際交流センター事務局長 竹内佳代子氏 詳細3頁参照

2.2. 研修・親睦委員会

片倉満委員長

- 1) 9月度定例会 ①奇数月実施の昼食会参加者6名  
②秋の研修を日帰りバス旅行、千葉房総方面で検討
- 2) 10月度定例会 ①秋の研修旅行は11月下旬高尾山紅葉狩り、下山後極楽湯にて入湯・食事案となる。  
②追加案として、日帰り房総方面バス旅行：  
1月27日(月)京王観光バス旅を利用し実施する。  
③関戸公民館主催、来年2月開催予定の第3回VITAふれあいまつりに参加エントリーした。

2.3. 広報委員会

伊藤健一委員長

- 1) プロバスニュース第114号；11月6日発行・配布予定。寄稿を随時募集しています。テーマは自由です。
- 2) ホームページ更新は上記ニュース発行後に予定。
- 3) たま広報(10/20号)「市民のひろば」の会員募集欄へ当クラブの会員募集記事(本年2回目)を掲載依頼した。
- 4) 「VITAふれあいまつり」の実行委員会へ片倉満会員と同席した。

2.4. 事務局報告

登坂征一郎会員

- 1) 八王子PC：プロバスだより第346号(9月12日)  
\*『1945年戦時の日本を振り返る』杉山友一氏

2) 大阪PC 会報第396号(9月11日発行)

- \*「椰子の実」「キサスキサス」「その名はフジヤマ」
- 3) 多摩市国際交流センター ふれんどりーたまNews9月号 No. 256、毎月10日発行  
\*国際理解講座；インドネシア共和国 9月29日(日) 14:00～16:00；多摩市関戸公民館 大会議室
- 4) 横濱プロバス倶楽部 「五所川原全日本プロバス協議会総会参加 の旅」

◇◇◇ サークル活動 ◇◇◇

俳句会の活動

登坂征一郎会員

まず初めに、当句会の創設、ご指導頂いておりました 蓮池秋霜様 が、7月に逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。合掌。

当句会は、当クラブで平成17年9月に発足、ほぼ毎月一回も休みなく句会を実施し、今夏の猛暑の8月は流石に紙上句会とし、また、諸般の状況により対面句会と紙上句会を織り交ぜながら開催して来ています。

発足以来、「からまつ俳句結社」名誉主宰由利雪二先生、主宰石川春兎先生のご指導を頂いて来ております。

句会は、会員各自5句を作句し、爽風が清記表にまとめて毎月第2金曜日午後の句会に臨み、選考・披講と春兎先生の選評を頂いております。句会では相互に俳号で呼び合い丁々発止楽しく句会を進めています。また、これらの作品は月刊俳句誌「からまつ」誌に投句して、誌の選考の先生方に選評をして頂き、毎月俳句誌に掲載されます(からまつ役職名は現在の名称です)。また、一年間の作品の中から自選12句を句集「こだま」にまとめ発行しています。現在こだま第7号を年末に発行予定です。

からまつ誌10月号に掲載された俳句会員の作品と8月の俳句会の作品(\*印)を紹介します。

|                   |       |
|-------------------|-------|
| 水打って挨拶の路地父祖の代々    | 増山胡桃子 |
| 太陽のごときトマトの完熟度     | 関戸 氷子 |
| 青梅の砂糖が溶けて終わる梅雨    | 川久保魚水 |
| *平和とは問ひて始まるオリンピック | 渡辺 紫水 |
| *灼くる街飛び交う鳩の黒々と    | 片倉 柳人 |
| *「咲いてね」と朝顔の苗鉢に植え  | 辻 勝英  |
| 梅雨晴れ間孫子総出のバーベキュー  | 登坂 爽風 |

◇◇◇ 講話先生の紹介 ◇◇◇

次ページの講話を頂いた多摩市国際交流センター(TIC)の事務局長 竹内佳代子様のご自己紹介です。

1993年、TICの設立時に入会。日本語セミナー部でボランティアとして外国人に日本語を教える、また広報部にも所属し様々なイベント取材しつつ、「国際フェスタ」などの企画に加わる。2011年に事務局長となり多摩市との関連事業、TIC全般のイベント、事務局スタッフの管理運営に関わっております。

<注記：当クラブは、TICの後援をしております>

## 創立 30 年を迎えた多摩市国際交流センター(TIC) 多摩市国際交流センター事務局長 竹内佳代子氏

「“大きい”や“高い”はイ形容詞でしたね。では反対の言葉はなんでしょう、張さん。」「“小さい”です。」「そうですね。ライオンは大きいですね。小さい動物は何ですか。」「ハイ、猫です。猫は小さいです。」TICの日本語教室では多くのボランティアがこのように外国人に日本語を教えています。多摩市は1993年に「多摩市国際交流センター」を設立し、昨年30周年となりました。その当時1,000人程であった外国人数は今年2024年1月には約3,300人となりました。設立趣意書にある「国際色豊かな街」を目指しているTICの活動「外国人へのサポート」「市民と外国人との交流」「外国を知る」が3本柱です。



冒頭の日本語教室は「外国人へのサポート」の主要活動で約80人のボランティアが、通年すると180人～200人の外国人に日本語を教えています。毎週の勉強だけではなく「外国人の日本語スピーチ発表会」と日本語文集「さくら」を隔年で行っています。

日本語を勉強している外国人のバックグラウンドは様々であり、日本語のレベルもひらがなからはじめる人から、漢字をすらすら読める人までレベルの差がありますが、学習者に対応する教え方をしています。

外国人の方に様々な情報提供をしているのが外国語の情報誌「HAND in HAND in TAMA」です。たま広報から外国人に必要な情報をピックアップしてA3の紙面を作り、英語、中国語、韓国語に翻訳します。昨年は「やさしい日本語」版も加わりました。他には「外国人生活相談」や学校に出向いて放課後子どもたちに日本語指導をしている「市内小・中学校における適応指導」があります。

では、市民と外国人の交流イベントはどうでしょう。アウトドアのイベントでは、春の「お花見」夏の「小野神社の盆踊り」秋の「紅葉狩り」などがあり、桜の下でお弁当を食べながら楽しくおしゃべりします。また毎月の「生け花サロン」やお料理教室も人気があります。モロッコの“タジン鍋”や“クスクス”を作ってみたりと異国の味を楽しむとともに

に、外国人に日本の“ちらし寿司”や“厚焼き玉子”の作り方“おにぎり”を握るときの手加減などを手ほどきします。



それでは外国に関する私たちの知識はどうでしょうか。英語以外の語学に興味がある方も多く、現在TICでは7つの英語クラスの他に、中国語、ハンガール、フランス語、スペイン語、タイ語の外国語クラスがあります。毎回1時間半の授業をネイティブの講師が受け持ちます。時にはその国の文化もレクチャーしていただき、語学以外の見聞も広めます。

また市民の皆さんへのイベントとして「国際理解講座」があり、外国人に母国の紹介をしていただきます。その国の生活用品や衣装なども展示され、時には参加者が一緒に民族舞踊を踊ったりもします。

世界の国の紹介は他にも「国際フェスタ」というイベントで、広く、深くある国や、地域を映像、展示、音楽などを使って紹介するイベントも開催しています。



多摩市は「2020東京オリンピック・パラリンピック」でアイスランドのホストタウンとしてアイスランド選手をサポートし、その後も様々なイベントを行っています。TICでは「北緯66度の国アイスランド」のパンフレットを作り、市民に向けてアイスランドのPRをすると共に、2021年の3月に国際理解講座でアイスランドを取り上げ、アイスランド大使のステファン・ホイクル・ヨハネソン駐日大使（当時は就任前）から直接にお話を伺いました。このように外国人と日本人市民の交流、外国に関する広い知識を市民に提供する講座などをボランティア会員が企画しています。

これから多摩市だけではなく日本の多くの都市で外国人人口が増え、日本も俗に言われる、多文化共生の社会へと広がっていくことを、全ての日本人が意識して、いいえ、意識することなく自然に暮らしていける社会が来るように、そして多摩市が多くの外国人にとって住みやすい街になることが、TIC会員が目標とするところです。これからもこの活動がプロバスクラブの会員の方に賞賛されるよう努力したいと思っています。



◇◇◇ ニコニコハッピーBOX ◇◇◇

9月：  
小島明会員：のろのろ台風もやっと過ぎ、秋らしい天気になってきました。

登坂征一郎会員：8月8日 初めての五所川原立俵武多を見物。その勇壮な姿にまた「ヤッテマレ！ヤッテマレ！」と掛け声も勇ましく、伝統を引き継いで市民一体となって祭りを盛り上げている団結力と言おうか感動しきり。街中の力を得たり立俵武多 爽風。

10月：  
伊藤健一会員：ゴルフ練習を少しずつ積み重ね、ようやく皆さんと一緒にゴルフができるようになったこと。

健康でゴルフを続けられることと、家族全員の健康長寿を願って！

◇◇◇ ハッピーバースデー ◇◇◇

1. 9月に誕生日を迎えられました！



；  
増山敏夫会員  
米寿を迎えました。好きなことやって  
今はおまけの人生です。



登坂征一郎会員；  
86歳となりました。昨年の右腎臓手術  
後1年余、異常もなく経過しました。  
かつては白寿までの娯に目標を置いて  
いましたが、術後の経過を踏まえて、明  
るく生きたいと思っています。

◇◇◇ 東京多摩プロバスソング ◇◇◇

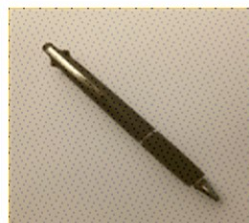
作詞 池田 寛  
作曲 中村 昭夫

聖の桜仰ぎつつ 多摩の流れに身を清めて  
緑の杜に囲まれた 我が故郷の行く末と  
社会奉仕に力をそそぐ  
集う我等プロバスクラブ  
プロバス プロバス 多摩プロバスクラブ

霊峰富士を仰ぎつつ 心の業を磨き合い  
豊かな知識身につけて 次の世代の若人の  
教え導く糧となる  
集う我等プロバスクラブ  
プロバス プロバス 多摩プロバスクラブ

◇◇◇ 誕生祝の贈り物 ◇◇◇

会員同士お互いに誕生日を迎えることに、ここまで無事に来た喜びと周りへの感謝、この先は？を思うとどこまでいけるかと……。幼少のころは周りからチヤホヤされて、早く誕生日が来ないかと待ち遠しかったのを覚えています。年年歳歳複雑な思いが……。然し乍ら、長寿を祝うことは古来から目出度いこととし脈脈と続い



て来たではないか！当クラブでは、細やか乍らそのお祝いにボールペンを贈ることになりました。このペンは、大変に書きやすく、筆圧も軽いタッチです。ぜひご愛用ください。

◇◇◇ 多摩市の公園について ◇◇◇

多摩市に整備されている公園は、1970年代から1980年代に、主に「多摩市ニュータウン開発」等により本格的に整備されてきました。令和5年4月時点の公園・緑地面積は、201.35ha、市民一人当たりの市立公園・緑地面積は13.6㎡/人で、都内の市町村では第1位となっています。市内の公園は大小合わせ208あります。多摩市は緑豊かで、青空一杯で、空気が美味しいです。

その中から主な公園を季節に合わせ、本会報の1ページに紹介していきます。前会報113号では、多摩市北の多摩川に接する一ノ宮公園を、本号では鶴牧西公園です。（1頁を参照下さい）。（登坂征一郎会員記）

◇◇◇ 編集後記 ◇◇◇

プロバスニュースは、当クラブの活動、会員による寄稿、卓話・講話の紹介などが中心の内容となっています。

これまで、コロナ禍によりプロバス活動が停滞した期間も発行を継続し、当クラブの活動の支えとなってきました。コロナを契機に、ニュースの編集会議も従来の対面での会議をスカイプでのオンライン会議に切り替えて実施してきました。今号の編集は、スカイプとメールでの編集となりましたが、現状は広報委員会メンバーもスカイプ等で会議に参加できる委員も限られてきており、コロナ禍も一段落したところで、今後は対面での会議も検討しているところです。スカイプ会議は手軽ですが、出かけてする対面の会議には面倒な代わりにその分、オンラインには無い対面交流の良さが有るように思います。

これからも当プロバスニュースの継続、発展のために、会員・会友各位からの積極的なご寄稿を心よりお待ちしております。

（広報委員 伊藤健一会員記）